

令和6年度 芸術科「書道Ⅲ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～E組
教科書	書道Ⅲ（東京書籍）	副教材等	

1 学習の到達目標

書道における幅広い活動をとおして、広い視野から書の文化や伝統を尊重する態度を育てる。
 書写能力を高めるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。
 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育む。

2 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習項目	学習のねらい	評価方法
4 5	1 篆書の学習 ・「甲骨文」 ・「大子鼎」 ・「泰山刻石」	漢字の書 鑑賞	「甲骨文」では、直筆露鋒により、鋭利な線質を理解する。 「大子鼎」では、直筆藏鋒により、丸みのある線質を理解する。 「泰山刻石」では、直筆藏鋒により、縦長で左右相称で同じ太さで書くことを理解する。	学習の記録 作品提出
6	2 隸書の学習 ・「乙瑛碑」 ・「石門頌」 ・「居延漢簡」	漢字の書 鑑賞	「乙瑛碑」では、直筆藏鋒により、厚みのある線質で扁平に書くことを理解する。 「石門頌」では、直筆藏鋒により、素朴でおおらかな線質を理解する。 「居延漢簡」では、直筆藏鋒により、柔らかくスピード感のある線質を理解する。	学習の記録 作品提出
7	3 行草書の学習 ・「集字聖教序」 ・「祭姪稿」 ・「十七帖」	漢字の書 鑑賞	「集字聖教序」では、側筆露鋒により、気脈を意識した線質を理解する。 「祭姪稿」では、直筆藏鋒により、厚みのある強い線質を理解する。 「十七帖」では、側筆露鋒により、丸みのある線質や点画の省略を理解する。	学習の記録 作品提出
	4 楷書の学習 ・「薦季直表」 ・「始平公造像記」 ・「鄭義下碑」	漢字の書 鑑賞	「薦季直表」では、側筆露鋒による、素朴で穏やかな線質を理解する。 「始平公造像記」では、側筆露鋒による、力強い線質や方筆を理解する。 「鄭義下碑」では、直筆藏鋒による、細くて強い線や円筆を理解する。	学習の記録 作品提出
	5 仮名の学習 ・「高野切第一種」	仮名の書 鑑賞	「高野切第一種」では、直筆による、流麗な連綿や優雅な書風を理解する。	学習の記録 作品提出

9 10 11 12	6 創作 ・選択臨書 ・創作 ・書き初め	漢字仮名交 じりまたは 漢字または 仮名の書 鑑賞	創作の礎となる古典を選択して臨書する。 継続して臨書して古典の書風を理解する。 題材から表現、表装に至るまでを自ら考え、計画し、創作作品を完成させる。 日本文化に触れ、書体・書風を自らの意志により選択する。	学習の記録 作品提出
1	7 鑑賞 ・鑑賞	鑑賞	創作作品を陳列し、展示する。 展示した作品を鑑賞し、評価する。	学習の記録

3 評価の観点

知識・技能	書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身に付け、表している。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の表現や鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価基準をもとに、提出物（作品・レポート）、授業態度・意欲・出席状況などを総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ

<p>書道ⅠⅡを基礎に、一人一人の個性を生かし、伸ばしていくことを学習の第一目標とします。</p> <p>「まなぶ」とは「まねぶ」とも言います。古くて良い物を手本としてまねる臨書が学習の中心となります。臨書は創作のための大切な学習方法です。</p> <p>書道Ⅲの学習を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てていきます。</p>
--